

| 牛久市社会教育委員会議事概要 | | 日時 | 令和元年11月5日(火曜日) |
|---|---|----------|----------------------------------|
| 件名 | 令和元年度社会教育委員会議 | 場所 時間 | 牛久市中央生涯学習センター大講座室 15:30~17:00 |
| 作成年月日 | 令和元年11月9日(土曜日) | 作成者 | 生涯学習課：関 稔 |
| 出席者 | (出席委員) 守屋常雄、田井鉄男、松田元、佐々江健治、唯根勉、小島五男、竹上謙一、岡野あつ子、武田直樹 | | |
| | (牛久市) 次長 飯野喜行、次長 吉田茂男、生涯学習課長 中野祐則、文化芸術課 手賀幸雄、スポーツ推進課長 齋藤勇、中央図書館 諏訪部なづな (事務局) 生涯学習課長補佐 山越義弘、副参事 関稔、主事 板倉美世恵、社会教育指導員 中島和枝、社会教育主事 高森志保 (傍聴者) 0名 (順不同・敬称略) | | |
| 議事内容 | 1) 令和2年度「補助金・交付金」の意見集約について 2) 今期「社会教育委員」の活動について(提言等) | | |
| 会 議 内 容 等 | | | |
| <p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶(飯野教育次長)</p> <p>3. 議事</p> <p>1) 令和2年度「補助金・交付金」の意見集約について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当次長：令和2年度「補助金・交付金」の意見集約についての説明。No.1~3 奨学金給付補助金、大会出場補助金、市体育連盟交付金について、社会教育委員からの所見に対する説明。 ・議長：3までは概ねご賛同いただいておりますので、こちらでよろしいですね。次に4番以降お願いします。 ・担当課長及び担当者：No.4~13「補助金・交付金」について説明。 <p>議長：No.4~13でご意見ありますでしょうか。なければ次に進めます。</p> <p>担当課長：No.14~19について説明。</p> <p>委員：文化協会の補助金を削減すべきというのは私の意見です。使い方がおかしい部分があります。会費を集めていますが、その90%から多い時だと100%を超える金額が10団体、約30人の親睦旅行の費用に使われている。その金額分の30万円は返納してもいいのではと思って削減すべきと私は思います。</p> <p>委員：実態はそのとおりですが、会員全員が広く活用できるような形の活動をしていこうということで、今後はこのようなことはないと思います。</p> <p>議長：担当課のほうではいかがですか。</p> <p>担当課長：私も内容は承知しております。問題が多かったと思います。今までのような自由な使い方というのは認めません。今迄のような要求であれば削減せざるを得ない。</p> <p>議長：資料の予算にはそれが反映されていますか</p> <p>担当課長：研修費と広報費しかなかった。広報費は今後も継続します。研修費が実質親睦旅行でつかわれていた。</p> | | | |

委員：会計監査をやっても 30 万円で良い研修をやっているんだらうなと思っていた。

委員：文化協会の加入団体、20 団体も 1 年間で減ってしまうのですか。

委員：1 年ではなく、5, 6 年かけて減りました。

委員：原因は何ですか。

委員：高齢化と、文化協会のメリットがないということ。

委員：どの団体でも高齢化だと思います。なんで文化協会だけこんなに減っているのが問題。

担当課長：文化協会に入っているメリットがない。若い人がはいつてこない

議長：文化協会 52 万円という金額はそのままで、支出の内容を変えるということですね。

担当課長：はい、そうです。

副議長：委員がおっしゃっているのは違うと思います。この 52 万円を削減すべきじゃないかということですよ。

委員：何もない状況で予算を付けるのは間違いだと思います。いったん切って、どうしてもこういうことやりたいから付けてくださいということなら復活してもかまわないと思います。反省してますというのは口先だけだと感じました。

議長：委員会としては、どのぐらいの削減になるかは協議していただくにしても、本質のそった事業の見直しをしていただいて。

委員：検証という作業は行政の仕事に含まれてないのでしょうか。

担当課長：含まれます。

議長：もう一度検証して予算を練り直して頂くととなりますとどういうスケジュールになりますか。

担当次長：予算が確定するまでには 2 か月以上ありますので、議論ではできると思います。

議長：それでは検証していただいてもう一度練り直していただくということをお願いします。

委員：検証能力がなければ外注されれば良いと思います。

委員：文化協会公演事業というのはどういうものですか。

担当課長：市が直営で行っていた文化ホールで文化公演事業を、十数年前から市が交付金を出して文化協会が運営していました。きみまるやルパンのジャズコンサートなど。それを来年度からまた市の直営に戻すため、交付金の申請をしていないということです。

委員：文化協会が公に演じている事業でよろしいんですね。「コウエン」の漢字が後ろから支える後援なのかなと思って。公に演じる事なんですね。バックアップしているということではなくて。

担当課長：本来牛久市がやっていた文化公演事業を文化協会に交付金を渡してやっていただいていたということです。

委員：公に演じることなんですね。

担当課長：それが文化協会ではできないということなので今年度限りになりました。

委員：その事務費がなくなってしまったので、増額してほしいという。

担当課長：文化公演事業も文化協会がやってまして、ホームページの費用とか合わせて持ってましたので、それが事業としてなくなるので、そのぶんは文化協会に戻すという形です。

委員：文化協会の事業費は令和 2 年度は内訳が書いてありますけれど、元年度は事業費で 1 つになっているので見えないです。他の団体と同じように項目で出してもらわないと比較ができないです。

担当課長：No.20～27 の補助金について説明。

議長：コメントをお願いします。

委員：クロッキー大会は 1 団体の主催というのは理由があるんですか。

担当課長：40年近く前だと思いますが、市主催でやっていた。その頃はゲートボールやグランドゴルフなどなくて、高齢者対象の唯一のスポーツとしてこれが開催されていました。

委員：職員は交付金を交付する段階で趣旨、目的、目標、成果、検証などを答えられる職員にしてほしい。市の職員は事務処理をしています。議員は一般市民が選べます。市の職員は一般職員は選べない。真面目にやっていただきたい。

委員：No.25 地区スポーツ推進については3つの地区でそれぞれが特徴を持って運営しています。どういう方向にもっていこうとしているのか一度振り出しに戻して検証することも必要かと思えます。

担当課長：3地区事業につきましては検証等進めていきたいと思えます。

委員：増減理由のところで繰越金の超過がみられたということは、必要ない予算があったということですが10万円戻してます。10万円というどんぶり勘定的なところは見直したほうがよいと思えます。基準があればわかりやすい。行政区の世帯数人数の違いに応じた配分も考えていただければと思えます。

議長：25番についても検証見直しでよろしいでしょうか。

委員：23番、目的がはっきりしているのに積み立てがあるから補助金カットは違うのではないかと。

副議長：25番、なんでもかんでも削ればよいというものではない。全部ひっくるめて考えないといけません。教育的な部分もありますから。前に戻ります。ひなまつりは、文化としてより観光としてお客さんを呼べるイベントだと思います。ずっと20万円ですが、もっと大掛かりにしてほかの地区からも呼べるようなイベントにしてもらいたい。16番、エスカードシネマクラブは、自治会でシネマをやっているということでラップしているので見直しを考えてもらいたいと思えます。小学生中学生が参加するところに回してもらいたい。16番は減らず、17番は増額。平和使節団、よくこのぐらいの金額でやってるなどと思えます。広島近辺の遺産まで行けるような金額にしてほしい。

委員：青少年育成牛久市民会議の親子ふれあい映画鑑賞会は午前も午後も満席です。エスカードシネマクラブは大人、高齢の方が対象ですが、若い人を呼ぶということであれば、親子ふれあい映画鑑賞会を市でやっていただければ、増やして頂ければ、市民の若い層の子ども達が集まってもらえると思えます。

委員：25番、行政区の数、市民の数ですと、奥野地区が少なくなってしまう。このあいだ岡田地区でやった体育祭は子供の参加者が増えている。

担当次長：23番、体育協会の積立金について。補助金は税金ですのでその年のお金はその年に返すというのが大原則で、その年に必要な金額を交付するものです。積立金については削減してもいいのではないかと議論がありました。もし10年に一度記念大会があるのならその時に100万円増額を要求するというのはよろしいのではないかとというのが庁内の議論でありました。

議長：23番に関しては検証というよりも今の説明で大丈夫ですね。

委員：たとえば3年後に記念行事をやりたいという場合は、あらかじめ市に連絡しておけばある程度は考慮していただけるんですか。

担当次長：その都度その都度議論していきましょうということで、ご意見をいただくことは重要かと思えます。

委員：前年度に引き続いて財政が厳しくなるから1割カットだとか、今年度はこれ、来年度もこれ、その額だけは必ずもらえるよというのが実情だと思えます。

議長：14文化協会16エスカードシネマクラブ17うしくのひなまつり23は検証なし、25地区スポーツ振興交付金は検証いただいて見直しをする。ということで社会教育委員の意見まとめる形でよろしいですか。まずはできることから。

委員：理念を掲げて、コンセプトを設けてそこに向かうというスタイルを提言できたらいいなと思えます。

議長：1つめの補助金交付金についてはこういうかたちにいたします。2つめ、社会教育委員の活動について、

提言について、ご意見があれば出してください。

委員：このような補助金交付金について定例的にやっていったらいいと思います。

委員：これ以外に必要な行事はないのか。スポーツ関係は補助されています。文化のほうが少ない。合唱の大会に費用がかかります。補助していただければと思います。

担当次長：中学校の教育の一環ですので、子ども達、先生方の旅費に関しては、学校教育の予算で支出しております。プラスアルファは保護者が負担していると聞いておりますが、基本的に子供達はその大会に行くための費用は補助金ではなく市で負担させて頂いております。

副議長：地域のお祭りに子ども達をもっと参加するように、地区社協でもやっています。学校も協力してもらっています。これがどんどん進むと思います。

委員：活動に対して目標ビジョンがあってそれにみんながくっついていくような見える形がほしいです。

議長：今年度の社会教育委員のスケジュールは。

事務局：今年度全体会議はあと1回、その他に必要であれば小委員会という予定です。

委員：スケジュールを早めに欲しいです。

議長：提言については今後、継続してやっていくということでもよろしく申し上げます。ありがとうございました。

事務局から報告をお願いします。

事務局：研修のお知らせ。懇親会のお知らせ。

4. 閉会